Excel 2010データ抽出の操作手順

抽出プログラムの機能:

指標値型データの抜き出しプログラムは、Excelシート上にある項目一覧表の各項目の抜き出し指示にしたがってデータを抜き出します。抜き出しはRID項目の指定、データセルの指定、レコード数の指定が可能です。

本プログラムはExcel-VBAで作成しています(Microsoft社のExcelが必要(WindowsXP Excel2010で動作確認を行っております。))。

手順概要:

Excelを起動したのちに抽出用プログラムを開いてください。プログラム名は基本単位区別の場合は「SELH22KK1T(EXCEL2010).xlsm」です。 プログラム起動後の処理は、次の2つのステップに分かれます。

- 1 . Excelシートの項目一覧表上に抜き出しの指示をする。 抜き出したい項目に*を入れる。
- 2.抜き出し元となるファイル、抽出済み結果の保存先、最大レコード 数を指示し、実行する。

補足:

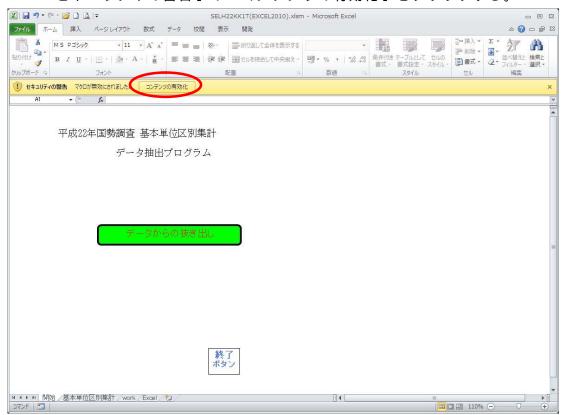
基本単位区別集計は集計値のほかに次の情報が付加されています。この情報はRID項目に記録されています。

- (1) 町丁字等名称 漢字の町丁字等名称を記録している。
- (2) 中心点座標 基本単位区別集計の場合にのみ、緯度と経度の情報を記録している。

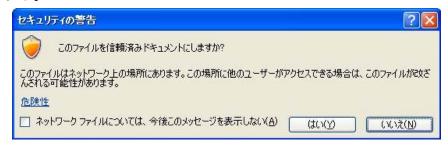
操作手順:

1.抽出プログラムを起動し、「SELH22KK1T(EXCEL2010).xlsm」を読み込む。

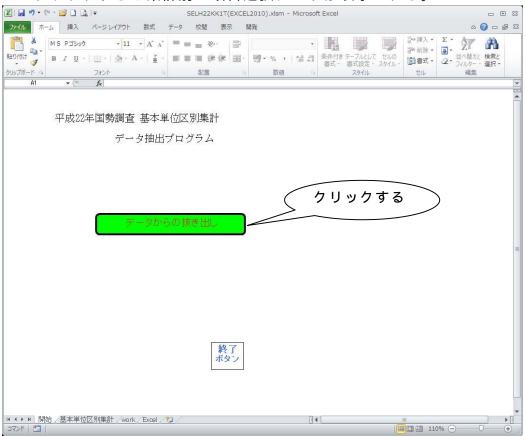
「セキュリティの警告」の「コンテンツの有効化」をクリックする。



下記が表示された場合は、信頼済みのドキュメントとして、「はい」をクリック する。



2.最初の画面で「データからの抜き出し」をクリックする。 クリックすると集計別の項目選択シートが表示される。



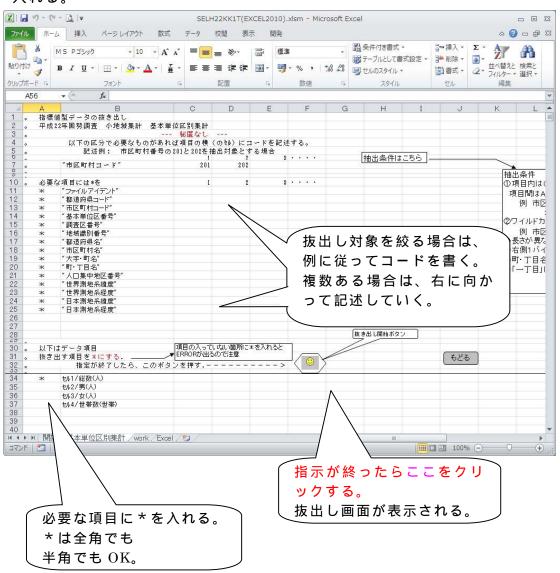
3. Excelシート上に必要事項を記入(キーイン)する。

(1) RIDの選択

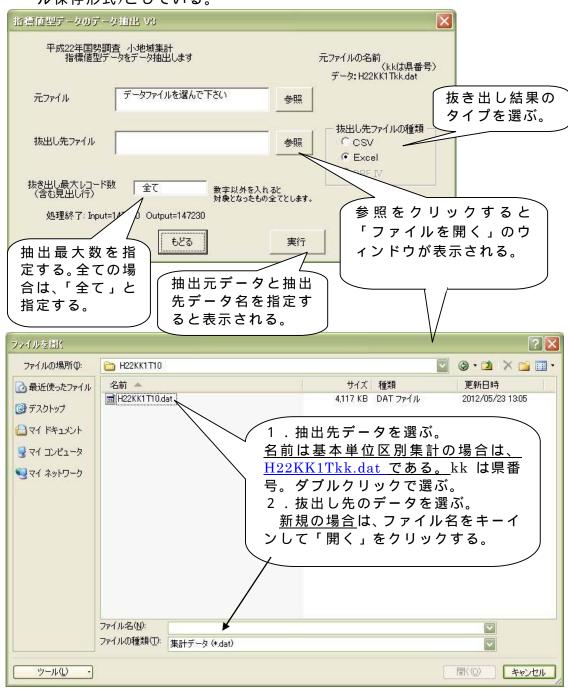
ファイルアイデントから日本測地系経度までの項目のうち、抜き出したい項目には、第1列目(A列)に*(全角、半角いずれでもOK)を入れる。また、第3列目(C列)以降の列に抜き出し対象となるデータのコードを記述する。複数ある場合は第4列目(D列)、第5列目(E列)と順次記述する。

(2) 集計数値項目の選択

抜き出したい項目には、第1列目 (A列) に * (全角、半角いずれでもOK)を入れる。



4.指標値型CSVファイル等の必要事項を指定する。 抜き出し先EXCELファイルの拡張子は「.xlsx」(EXCEL2007以降のファイル保存形式)としている。



「実行」ボタンをクリックして抽出を開始させる。 抽出が終了したら「もどる」ボタンをクリックする。

利用上の留意点

- (1) 秘匿について: 基本単位区別集計の場合は秘匿はありません。
- (2) 集計データについて 該当数値のない場合は「-」としています。